

ゲリラガーデニングとは、公共の場所に許可なしでガーデニングしてしまうこと。言葉にすると攻撃的!だけど、それが今、ロンドンの人々に温かい笑顔を与える栄養素になっているのをご存知ですか?

戦闘は夜。武器はラベンダーや低木など。仕事を終えた30歳前後の若者たちが路上の真ん中や片隅の死亡寸前な花壇に集い土を整え、持ってきた花や木を植え始める。

2004年10月、「Guerrilla Gardening Org」の創設者リチャード・レノルズさんは「無視された捨て子のような街中の花壇を何とかしたい」と思い、この組織をスタート。

100%ボランティアで行われるこの活動はウェブで仲間や支援を募り、自ら持ち寄った資金や木、花、道具など、各々の「気持ち」主導で運営されている。

ゲリラガーデニングのABC

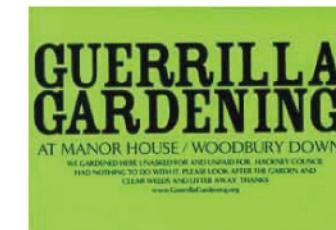
ゲリラガーデニングの基本は①自分が無視されいると思うスポットを見つけること。(その後の世話を考慮しなるべく自宅に近い場所や通勤のルートがベタ一)。②花や木などその場所に植えるものを調達すること(仲間に呼びかけて人集めることもひとつ)。後は日時を決め、実行に移すのみ!と超シンプル。ちょっとの勇気と行動力があればどんな人でも出来ちゃうのです。詳しく知りたい方はぜひ、下記のサイトを訪れてみて(英語のみ)。リチャードさんの進行中のプロジェクトやtips、世界中で行われているゲリラガーデニングの光景も見られます。

<http://www.guerrillagardening.org/>

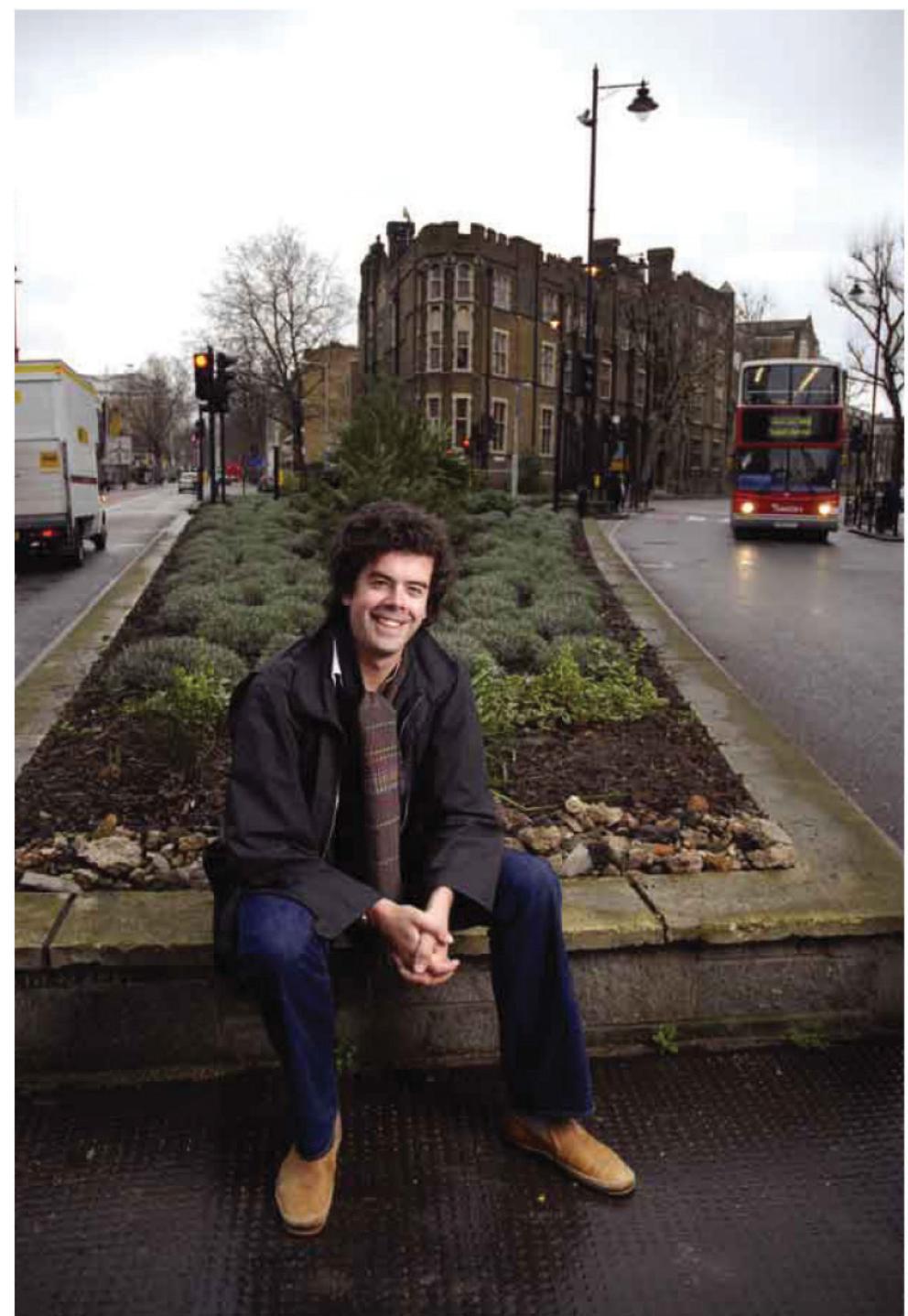
>>>HOW THEY DO?



季節にも寄りますが、基本的に自分たちで花壇の世話をしているそう(しかも週2回ベース!!)。「仲間と活動する時は8時頃に集まって庭いじりをしてから、パブで飲んだりするんだ」(リチャードさん)。こんな風に楽しみながら社会貢献できるロンドン人って素敵です。



ゲリラガーデニングを実行した後は近所にポスターを貼ったりして、近隣の住民に世話を委託することも。「理想的にはそのエリアの人に協力してもらうこと」と、リチャードさん、そんな機密な行動も人々を信じる心がってこそ。やっぱロンドンって温かい!



01:ロンドンは優しい 人々の笑顔を育むゲリラガーデニング。 ロンドンの街は優しい色に包まれつつあります

James Champion=撮影 酒井貴子=文

「マニアカルとかは全然なくて、その人のベースや達成感でやつてるんだ。僕たちにとって社交的な機会でもあり、楽しみだからね」。物価が高いロンドンでは庭を持つことが難しい。そんな大都市の不利な点にも怯まず、街の緑化活動を自らの「楽しみ」とする心意気。なんとなくロンドン流の「粹」を垣間見た人がほっこりとした気分にしてくれ、感謝の声も届いてくる。かみ込んだ目線の横を過ぎゆくダブルデッカーを背に、ロンドンのゲリラガーデナーは緑を愛する英國精神旺盛に、人々に夢と幸せを運ぶ一夜にして変貌を遂げる花壇は人がほっこりとした気分にしてくれ、感謝の声も届いてくる。かみ込んだ目線の横を過ぎゆくダブルデッカーを背に、ロンドンのゲリラガーデナーは緑を愛する英國精神旺盛に、人々に夢と幸せを運ぶ一夜にして変貌を遂げる花壇は

London ← Tokyo

ロンドン生まれの優しさが、 東京から世界に広める。“買い物で世界を変えよう”

Alex Edouard+Yui Natsuyagi=撮影 森幸映+根本美保子=文

「フェアトレード」という言葉、耳にしたことがある方も多いと思います。直訳すれば「公平貿易」。例えば、両親に十分な仕事がないために、働かざるを得ない子供たち。貧困に苦しむ人たちに単純に金銭的援助をするのではなく、公平な価格で商品を取引することで仕事の機会を継続的に確保するという、凄く健康的な社会貢献の方法です。ロンドンをはじめヨーロッパでは、1960年代の頃から意欲的に取り組まれてきました。

そんなフェアトレード先進国、ロンドンからやってきたサフィア・ミニーさん。17年前にご主人の転勤により来日した彼女は、環境保護と国際協力に取り組むNGO「グローバル・ヴィレッジ」を立ち上げました。その後、1995年に「ビープル・ツリー」を設立。世界初のフェアトレードのファッションブランドとなりました。

「洋服作りには工程がたくさんあるでしょう。だから、チョコレートやコーヒーなどの農作物よりも、ずっと多くの人たちに仕事の機会が生まれるんです。私たちの生産パートナーは主に農村部の女性、スラムの住人など途上国の中でも社会的立場の弱い人々。なので現地での技術指導とともに、労働環境を整える努力もします。例えば女性が安心して働けるよう、託児所の支援をしたりもね」。

しかし、日本のファッション事情など全く知らない現地の人々。縫い目の乱れなどの理由から、返品や売れ残りが発生することも。

けれどサフィアさんは言います。「日本の消費者の厳しい目があったからこそ、ファッションの中心都市であるロンドンでも、受け入れてもらえたの」。

ロンドンに逆輸入されたビープル・ツリーの商品は、今やTOPSHOPの店頭にも並ぶほどに。また、お洒落セレブとしても有名な女優のシエナ・ミラーも愛用者のひとり。ファッション誌にビープル・ツリーの服を着て登場することで、ロンドンでのビープル・ツリー人気は一気に加速しました。

フェアトレード商品である前にお洒落。単純に欲しい服を買うことで、世界の誰かを助けることに繋がるなら、これほどいいことはない!! サフィアさんの優しさとビジネスセンスが生んだビープル・ツリーは、東京に住む我々と途上国の人々を、強く確かな糸で繋ぎ続けています。

